

改訂年月：平成24年6月(記載要領変更に伴う改訂)

- ▶ 使用に際して、この添付文書を必ずお読み下さい。  
また、必要な時に読めるよう大切に保管して下さい。

小切傷・すりきず・さかむけ・あかぎれに!!

第3類医薬品

# クロスキン®

(液状絆創膏)

クロスキンは、小切傷・すりきず・さかむけ(ささくれ)・あかぎれなどにぬると一瞬しみますが、透明な膜を作り、傷をホコリやバイキンから守ります。被膜は炊事・洗濯などの水仕事でもはがれにくいので、クロスキンはホータイのいらない傷ぐすりです。

## ＜使用上の注意＞

❌ してはいけないこと(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)

1. 次の部位には使用しないこと。
  - ① ただれ、化膿、多量出血している患部、傷口の大きい患部
  - ② 目の周囲、顔面、頭部、粘膜等
  - ③ ひげそり、除毛、脱毛等により傷んだ皮膚
2. 有機溶剤が含まれているので、故意に吸わないこと。

🗨️ 相談すること

1. 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。
  - ① 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
2. 使用后、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ、かぶれ、熱感等

## 効 能・効 果

小切傷、すりきず、さかむけ、あかぎれ

## 用 法・用 量

患部を清潔にし、傷部だけに適量を塗り、そのまま静かに乾燥させて下さい。

## 用法・用量に関連する注意

- ① 目に入らないように注意して下さい。万一、目に入った場合は、すぐに水又はぬるま湯で洗い、直ちに眼科で受診して下さい。
- ② 塗布後の部位を火気に近づけないで下さい。
- ③ 小児に使用させる場合は、保護者の指導監督のもとで使用させて下さい。
- ④ 外用のみに使用し、内服しないで下さい。

## 使 用 方 法

- \* キャップのどがついている先を利用してチューブに穴をあけて下さい。
- \* キャップが取れないときは、口元を熱湯につけると取れます。(直接火気で温めないで下さい)
- \* 患部が血や水でぬれていた、またはクリーム、乳液など油脂分があるとクロスキンがつきませんので、使用前によく拭き取って下さい。
- \* 入浴または水仕事を重ねる間に、周りから剥がれてきますが、急いで剥がしたいときには、温湯に濡した布等で膜の部分を蒸し軟らかくした後に拭き取って下さい。又は、マニキュアの除光液(エナメルリムーバー)で溶かしながら拭き取って下さい。

## 成 分・分 量

100g中

ピロキシリン……15.95g d-カンフル……2.80g  
添加物としてベンジルアルコール、イソプロパノール、ヒマシ油、酢酸エチル、酢酸ブチルを含有する。

## 保管及び取扱上の注意

- ① 直射日光の当たらない涼しいところに、密栓して保管して下さい。
- ② 小児の手の届かないところに保管して下さい。
- ③ 他の容器に入れ替えないで下さい(誤用の原因になったり品質が変わる)
- ④ 火気に近づけないで下さい。
- ⑤ 使用後は、紙または布でチューブの口をよく拭き、必ずキャップをして下さい。
- ⑥ 衣服、家具、床等につくと、非常に取れにくく、色調に変化をきたす恐れがありますので、使用の際は十分に注意して下さい。
- ⑦ 外箱に表示の使用期限を過ぎた製品は使用しないで下さい。

【お問合せ先】：お買い求めのお店、又はお客様相談室にお問合せ下さい。

(お客様相談室) 電話：03-3862-4081

受付時間；9時～17時(土・日・祝日を除く)

【製造販売業者】 株式会社東京甲子社

住所：東京都千代田区岩本町3-10-9

第3類医薬品

透明な被膜で傷口をガード

# コロスキン®

ご家庭の常備薬

スポーツや日常生活に手軽で便利な包帯のいらぬ液状絆創膏です。



●家庭では  
炊事・洗濯の際の小切傷、  
すりきず、さかむけ(ささ  
くれ)、あかぎれなどに。

●登山・ハイキングには  
靴ずれ、小枝や草など  
でできた小さな傷の手  
当に。

●ゴルフにどうぞ！  
指先のわれやさかむ  
けのお手当に。



●旅行カバンにも  
必ず  
散歩、サイクリングや  
乗物でお出かけの際の  
ちょっとした傷の手当に  
たいへん便利です。

●潮干狩りや  
釣りなどには  
貝ガラやガラスな  
どのきり傷に、潮  
水がしみるのをふ  
せぎます。



●野球やテニスなどには  
爪われ、切り傷、すり傷、  
まめなど、スポーツの  
ときできる小さな傷に。

●スキーやスケートに  
寒いときのヒフは傷つきや  
すく、小さな傷も痛みがひどい  
すからすぐお手当を。



●農村・漁村のご家庭で

田植・除草、収穫  
時の切り傷、さか  
むけ、あかぎれに。



●事務所では  
ナイフやペンなど  
でできたおもわぬ  
切り傷、すり傷に。

●美容院・理髪店では  
パーマ液やシャンプ  
ー液による指先のあ  
れやさかむけに。

●食料品を扱う方には  
清潔で、めだたずに傷  
を治せるのでたいへん  
便利で衛生的です。

